



特集

平成28年11月29日  
東京税関

# トリュフの輸入



## 12月はトリュフの輸入がピーク！

- ☆毎年12月に輸入が集中。年間輸入量の1/3が12月に輸入される。
- ☆全国輸入額の9割以上が成田空港での輸入。



## 輸入額は過去最大

「トリュフ」はキャビア・フォアグラと並ぶ世界三大珍味のひとつとされ、高級食材として知られています。

生鮮・冷蔵のトリュフは、2001年以降、日本へは年間15トン前後が輸入されており、その輸入額は年々増加を続けています。

輸入額は年ベースでは6年連続の増加で、昨年（2015年）の輸入額は約9億4千万円と初めて9億円を超え、過去最大の輸入額となっています。

輸入量については、2000年に輸入量が急増した後は大きな増減はなく、昨年の輸入量は14.9トンでした。

トリュフは冬が「旬」で、輸入は11月から1月の間が多く、特に12月の輸入が突出して多くなっています。

また、日本に輸入されるトリュフは、その多くが成田空港から輸入されています。

この冬も、これから来年1月にかけて、成田空港でトリュフの輸入が増加することが予想されます。

今回は、12月に輸入のピークを迎える「トリュフ」にスポットを当ててみました。



本特集の「トリュフ」は、以下の輸入統計品目番号に分類される、生鮮・冷蔵のトリュフについてまとめたものです。

1998年～2006年 0709.52-000  
 2007年以降 0709.59-012  
 (2016年10月分は速報値(P)です。)



# 輸入動向（原産国別）

## イタリア産が首位

トリュフの国別（原産国別）の動向を見ますと、昨年（2015年）の実績では数量・金額ともにイタリアが首位となっています。

比較可能な1988年以降の推移を見ますと、輸入数量については、中国産トリュフの増減が大きくなっています。

中国産の輸入は1994年から始まり、2000年にかけて急激に増加しました。その後は減少

傾向ですが、これは中国産トリュフが日本よりも欧州など他の国へ輸出されるようになったことによるものようです。

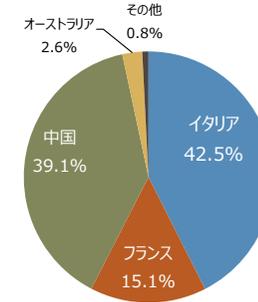
輸入額についてはイタリア産とフランス産が多く、2003年以降はイタリアが連続して首位となっています。

イタリアはトリュフの産地として有名ですが、中でも「白トリュフ」と呼ばれるトリュフは希少性が高く、非常に高額で取引されるため、輸入額を押し上げる要因の一つとなっているようです。

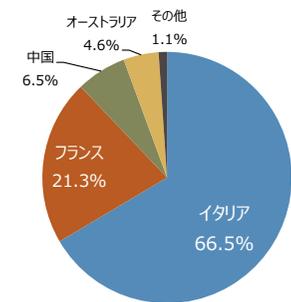
国別 輸入数量・金額（2015年）

国	数量 (kg)	構成比	金額 (千円)	構成比
イタリア	6,318	42.5%	625,298	66.5%
フランス	2,238	15.1%	200,399	21.3%
中国	5,804	39.1%	61,164	6.5%
オーストラリア	384	2.6%	42,935	4.6%
その他	118	0.8%	10,169	1.1%
計	14,862	100.0%	939,965	100.0%

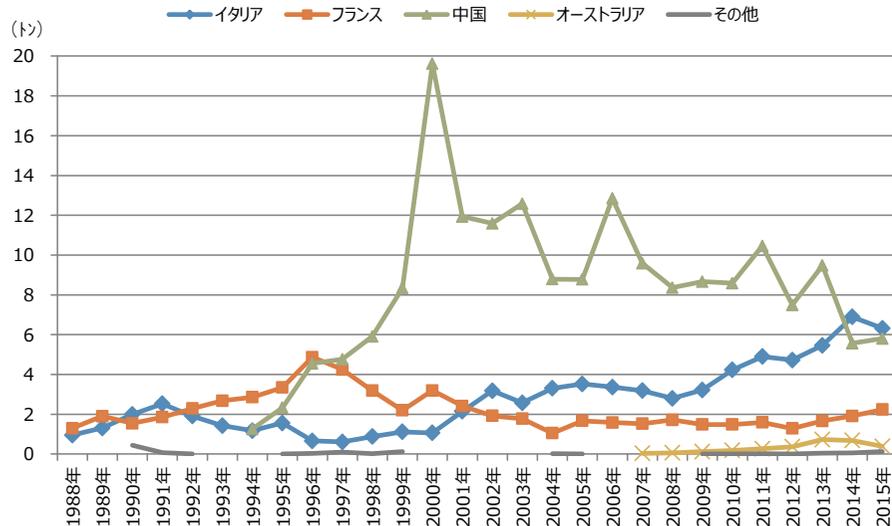
【国別 数量構成比】



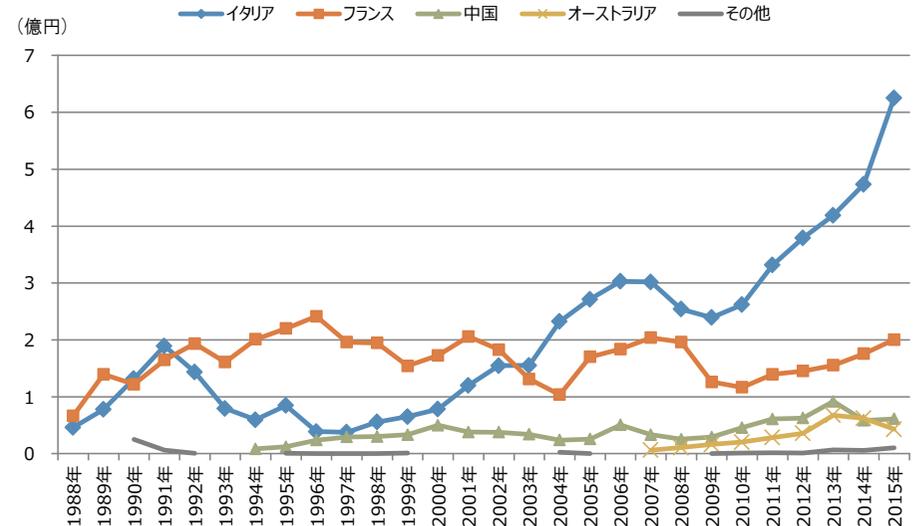
【国別 金額構成比】



国別 輸入数量 推移



国別 輸入金額 推移



## 輸入動向（港別）

### 成田空港が9割以上

昨年（2015年）のトリュフの輸入を港別に見ますと、輸入量の7割以上、輸入額の9割以上が成田空港での輸入となっています。

生鮮・冷蔵のトリュフは航空貨物で輸入されており、日本に輸入される生鮮・冷蔵トリュフのほぼ全量が成田空港と関西空港の2空港での輸入です。

中国産の輸入が増加した2000年頃に海上貨物での輸入がありましたが、現在はなく、全

て航空貨物になっています。

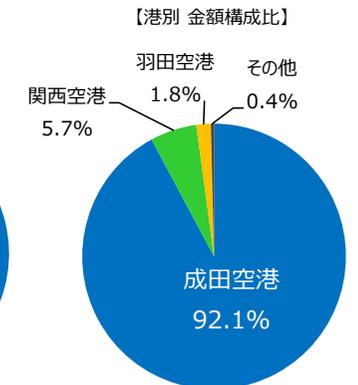
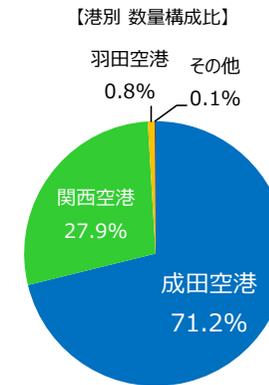
トリュフは輸送に関して非常にデリケートで、2℃～5℃の冷蔵状態を保ち、乾燥させず、密閉した状態で急いで輸送しないと、香りが飛んでしまうなど商品価値が下がってしまいます。

そのため海上輸送には適しておらず、全て航空貨物で輸入されています。

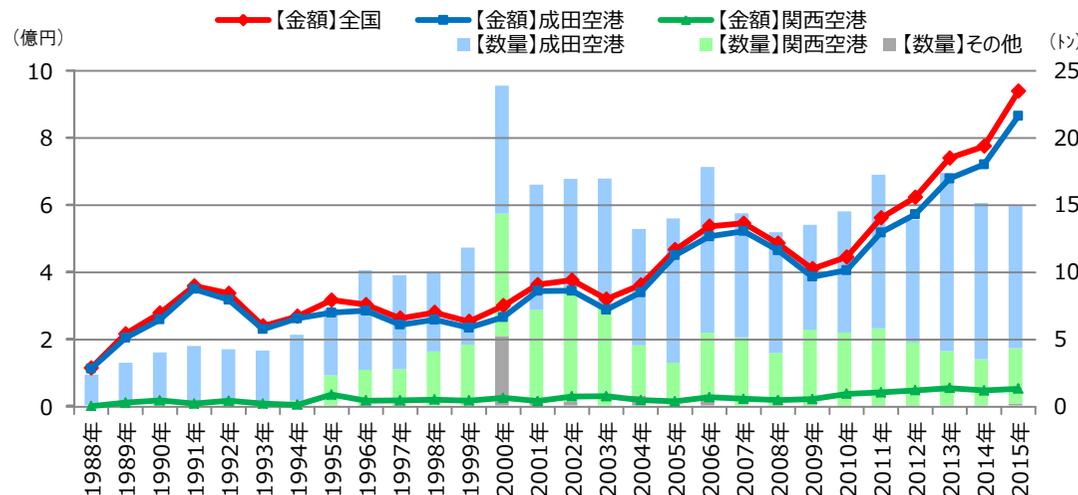
特に欧州産のトリュフについては成田空港に集中しており、イタリア産のほぼ全量、フランス産の8割以上が成田空港での輸入となっています。

港別 輸入数量・金額（2015年）

港	数量 (kg)	構成比	金額 (千円)	構成比
成田空港	10,579	71.2%	866,071	92.1%
関西空港	4,142	27.9%	53,554	5.7%
羽田空港	123	0.8%	16,662	1.8%
その他	18	0.1%	3,678	0.4%
計	14,862	100.0%	939,965	100.0%



港別 輸入数量・金額 推移



港別/国別 輸入数量・金額（2015年）

港	国	数量 (kg)	国別全国比	金額 (千円)	国別全国比
成田空港	イタリア	6,305	99.8%	622,208	99.5%
	フランス	1,798	80.3%	171,507	85.6%
	オーストラリア	384	100.0%	42,935	100.0%
	中国	1,978	34.1%	19,896	32.5%
	その他	114	96.6%	9,525	93.7%
<b>成田空港 計</b>		<b>10,579</b>	<b>71.2%</b>	<b>866,071</b>	<b>92.1%</b>
関西空港	中国	3,826	65.9%	41,268	67.5%
	フランス	316	14.1%	12,286	6.1%
<b>関西空港 計</b>		<b>4,142</b>	<b>27.9%</b>	<b>53,554</b>	<b>5.7%</b>
羽田空港	フランス	121	5.4%	16,188	8.1%
	イタリア	2	0.0%	474	0.1%
<b>羽田空港 計</b>		<b>123</b>	<b>0.8%</b>	<b>16,662</b>	<b>1.8%</b>

## トリュフについて

### そもそもトリュフって？

高級食材として知られるトリュフですが、トリュフには様々な種類があります。

トリュフは和名では「西洋松露（セイヨウショウロ）」で、セイヨウショウロ科セイヨウショウロ属（Tuber属）に属するきのこの総称です。地下の浅い所で、ナラやブナなどの樹木の根と共生しています。

トリュフには、大きく分けて「黒トリュフ」と「白トリュフ」があります。

#### 【黒トリュフ】

フランス、イタリアなどで収穫され、特に南西フランスのペリゴール産が有名です。

季節により収穫される品種が異なりますが、冬トリュフが最も香りが強く、また高価です。

料理では加熱調理されることが多く、リゾットやパスタに入れたり、スライスして肉の上に乗せたりして供されます。



夏トリュフ  
(Tuber aestivum)  
収穫時期：5～8月



秋トリュフ  
(Tuber uncinatum)  
収穫時期：9～11月



冬トリュフ  
(Tuber melanosporum)  
収穫時期：12～2月

#### 【白トリュフ】 (Tuber magnatum)

収穫時期：9～12月



主にイタリアで収穫され、特にピエモンテ州アルバ産が有名です。

黒トリュフより香りが強く、主に生のままスライスして使われます。

全て天然物のため、黒トリュフよりさらに希少性が高く、価格も非常に高額です。

### トリュフの栽培

希少価値の高いトリュフですが、黒トリュフについては栽培がされています。

栽培といっても、その方法は樹木の苗木の周りにトリュフの菌床を植え、成長を待つという方法で、収穫できるまで10年～15年ほどかかります。

長い時間がかかるうえ、自然まかせの部分が多く、大量生産ができないことがトリュフの希少性の高さになっています。

なお、トリュフというと、豚を使って探ることが有名ですが、現在では訓練された犬を使うことが多いようです。

### 中国産トリュフ

1990年代中盤以降に輸入されるようになった中国産トリュフは、イボセイヨウショウロ (Tuber indicum) という種類です。

主に雲南省や四川省で収穫され、日本を始め、世界中に輸出されているとのこと。

輸入数量・金額（年別）

年	数量 (kg)	前年比	金額 (千円)	前年比
1988年	2,303	-	115,531	-
1989年	3,204	139.1%	217,250	188.0%
1990年	3,972	124.0%	278,706	128.3%
1991年	4,453	112.1%	359,869	129.1%
1992年	4,202	94.4%	337,763	93.9%
1993年	4,101	97.6%	240,331	71.2%
1994年	5,284	128.8%	269,027	111.9%
1995年	7,236	136.9%	317,374	118.0%
1996年	10,107	139.7%	304,304	95.9%
1997年	9,719	96.2%	263,355	86.5%
1998年	9,988	102.8%	280,686	106.6%
1999年	11,777	117.9%	253,880	90.4%
2000年	23,871	202.7%	300,932	118.5%
2001年	16,491	69.1%	363,606	120.8%
2002年	16,905	102.5%	377,070	103.7%
2003年	16,932	100.2%	320,219	84.9%
2004年	13,162	77.7%	362,458	113.2%
2005年	13,973	106.2%	467,225	128.9%
2006年	17,801	127.4%	537,064	114.9%
2007年	14,337	80.5%	546,454	101.7%
2008年	12,933	90.2%	486,639	89.1%
2009年	13,488	104.3%	410,764	84.4%
2010年	14,491	107.4%	445,665	108.5%
2011年	17,219	118.8%	562,235	126.2%
2012年	13,873	80.6%	623,856	111.0%
2013年	17,372	125.2%	740,895	118.8%
2014年	15,114	87.0%	775,777	104.7%
2015年	14,862	98.3%	939,965	121.2%
2015年 1-10月	8,365	101.0%	511,295	114.7%
2016年 1-10月(P)	10,792	129.0%	541,554	105.9%

輸入数量・金額（月別）

年月	数量 (kg)	金額 (千円)
2014年 1月	1,737	97,787
2月	562	70,238
3月	552	44,466
4月	157	7,817
5月	390	10,237
6月	1,053	33,902
7月	1,297	57,938
8月	711	24,120
9月	732	24,422
10月	1,092	74,964
11月	2,226	106,069
12月	4,605	223,817
2015年 1月	1,846	100,348
2月	1,012	81,932
3月	387	47,052
4月	252	15,412
5月	508	16,907
6月	917	30,716
7月	1,246	44,851
8月	753	23,726
9月	628	34,415
10月	816	115,936
11月	2,112	161,795
12月	4,385	266,875
2016年 1月	1,814	115,506
2月	872	85,907
3月	454	47,018
4月	405	17,738
5月	780	16,036
6月	1,425	38,201
7月	1,632	46,671
8月	1,239	25,964
9月	1,026	34,320
10月(P)	1,145	114,193

港別 輸入数量 (KG)

年	全国	成田空港	関西空港	その他
1988年	2,303	2,274	29	-
1989年	3,204	2,997	207	-
1990年	3,972	3,684	288	-
1991年	4,453	4,341	112	-
1992年	4,202	3,923	267	12
1993年	4,101	3,919	182	-
1994年	5,284	4,905	379	-
1995年	7,236	4,983	2,233	20
1996年	10,107	7,434	2,625	48
1997年	9,719	7,009	2,650	60
1998年	9,988	5,943	4,045	-
1999年	11,777	7,242	4,535	-
2000年	23,871	9,543	9,148	5,180
2001年	16,491	9,372	6,582	537
2002年	16,905	8,538	8,069	298
2003年	16,932	9,590	7,342	-
2004年	13,162	8,669	3,753	740
2005年	13,973	10,773	3,200	-
2006年	17,801	12,363	4,936	502
2007年	14,337	9,236	5,101	-
2008年	12,933	9,010	3,922	1
2009年	13,488	7,832	5,651	5
2010年	14,491	9,036	5,453	2
2011年	17,219	11,455	5,759	5
2012年	13,873	9,174	4,690	9
2013年	17,372	13,304	4,040	28
2014年	15,114	11,644	3,431	39
2015年	14,862	10,579	4,142	141
2015年 1-10月	8,365	6,792	1,563	10
2016年 1-10月(P)	10,792	9,279	1,180	333

港別 輸入金額 (千円)

年	全国	成田空港	関西空港	その他
1988年	115,531	113,678	1,853	-
1989年	217,250	205,019	12,231	-
1990年	278,706	259,685	19,021	-
1991年	359,869	350,486	9,383	-
1992年	337,763	318,702	17,936	1,125
1993年	240,331	230,950	9,381	-
1994年	269,027	263,079	5,948	-
1995年	317,374	280,337	35,920	1,117
1996年	304,304	285,739	18,343	222
1997年	263,355	244,345	18,763	247
1998年	280,686	259,278	21,408	-
1999年	253,880	235,339	18,541	-
2000年	300,932	266,751	26,501	7,680
2001年	363,606	344,908	17,061	1,637
2002年	377,070	345,471	30,858	741
2003年	320,219	289,069	31,150	-
2004年	362,458	340,386	19,991	2,081
2005年	467,225	451,266	15,959	-
2006年	537,064	507,325	28,239	1,500
2007年	546,454	522,766	23,688	-
2008年	486,639	466,064	19,984	591
2009年	410,764	386,870	22,776	1,118
2010年	445,665	406,546	38,519	600
2011年	562,235	518,567	42,894	774
2012年	623,856	573,186	49,016	1,654
2013年	740,895	679,269	55,647	5,979
2014年	775,777	721,413	48,596	5,768
2015年	939,965	866,071	53,554	20,340
2015年 1-10月	511,295	486,165	22,904	2,226
2016年 1-10月(P)	541,554	488,472	17,364	35,718

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

本資料に関するお問合せは

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:03-3599-6385

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

財務省貿易統計

検索



東京税関

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎

<http://www.customs.go.jp/tokyo/>